

厚真町起業化支援事業の 申し込み受け付けを開始します

産業経済課 経済グループ
☎27-2486

町では、起業支援として、起業時における開業経費等の必要な経費の負担を軽減し、新たな起業への取り組みを奨励するため「厚真町起業化支援事業」を実施しています。

	①新規開業支援事業	②事業化支援事業
補助対象事業	起業するために必要な施設の建築および改修等を行う事業。事業執行は、原則1年度限り。(上限に達しない場合は2年度目以降、事業化支援事業に申請可能)	安定的な事業継続を図るために行う事業。事業執行は、条件により最大3年。
補助金の交付対象者	町内において起業を予定している方 平成27年1月1日以降に起業した方 ※その他要件あり	
補助対象経費	報償費、旅費、役務費、委託費、工事請負費、備品購入費等	報償費、旅費、需用費、役務費、委託費、使用料および賃借料、備品購入費、償還費等

※①または②の事業のうち、どちらか一つを選択してください。
※申し込みを希望する方は、産業経済課経済グループにご相談ください。

○事業の決定方法

審査は審査委員会で申請者からのヒアリングを行い、町内の活性化につながる計画になっているか等を審査し、決定をします。

○補助金の交付対象期間の終期

起業した日から3年後の応当日の前日まで

○補助率

2分の1以内

○補助限度額

200万円（※空き店舗を活用する場合は250万円）

○申込期限

平成29年6月30日(金)まで

「農地中間管理機構」による 農地の借受希望者(受け手)の募集開始

農業委員会事務局 ☎27-2409

農地中間管理機構である公益財団法人北海道農業公社では、農地を借りたい人(受け手)の募集を行っております。ご希望の方は、上記までお問い合わせください。

○募集は年2回(5月と9月)しか行いませんので、地域農業の担い手の方や、経営規模の拡大または分散錯圃の解消を希望される方などは、忘れずに申請(借受希望)の手続きを行ってください。

○平成28年度の募集より、有効期限が5年間となっていますので、昨年度中に申請をされた方は申請の必要はありません。

○借受希望の申請ですので、この申請により農地の借受けが決定するわけではありません。

○平成27年度以前に申請された方の有効期限は1年間のままであり、既に有効期限が切れていますので、借受を希望する場合には必ず手続きしてください。

募集期日: 5月31日(水)まで



還元ポイントで 医療費負担を実質無料化

町民福祉課 子育て支援グループ
(総合ケアセンターゆくり内)
☎26-7872

町では、医療費に係る自己負担分をポイント還元し、医療費の実質無料化を図っています。この事業は、高校生までのお子さんが病院にかかった場合の医療費自己負担額を金券に交換して町内の商店で買い物ができるようにするものです。

すでに保育料還元事業で子育て支援カードをお持ちの方は、そのまま医療費還元事業でお使いいただけます。

対象者	厚真町に住所のある18歳に達した日以後最初の3月31日までのお子さんの保護者 ※生活保護法による生活保護を受けている方は対象となりません。
還元対象となる医療費	お子さんが病院などにかかった際に支払った金額のうち、国民健康保険や社会保険などの対象となっている医療費 ※保険外は対象となりません。 ※医療保険の規定による高額療養費の支給の対象となる場合は、その高額療養費の額を控除した額となります。(こども園や学校での負傷による療養費で、災害共済給付を受ける場合は対象外です) ※乳幼児等医療費の初診時一部負担金も還元対象となります。 ※小学生の入院で医療費助成の対象となる場合は、その額を控除した額となります。
還元ポイント	1円につき1ポイント

子育て支援カード



- ①保護者が初めて医療費の還元を受けようとするときは、医療機関が発行する診療点数の記された領収書と保険証(対象となるお子さんの保険証)を添えて、子育て支援カードの交付を申請してください。
- ②町は、還元ポイント数を決定し、子育て支援カードを保護者に交付します。
- ③継続して医療費の還元を受けようとするときは、子育て支援カードに領収書を添えて、還元ポイントを受けてください。
- ④医療費自己負担額を支払い、あとで高額療養費を受ける場合は、領収書とあわせてこの支給額が分かるもの(支給決定通知書等)を添付してください。
- ⑤子育て支援カードは、2人以上のお子さんがいても1世帯につき1枚です。
- ⑥子育て支援カードの有効期限は、原則、交付後1年です。有効期限内に「子育て支援 厚真町金券」に交換した場合(更新)は、交換した日から1年です。

子育て支援 厚真町金券



- ①保護者の申請により、還元ポイント、累計500ポイントごとに500円相当の「子育て支援 厚真町金券」と交換します。
- ②金券の有効期限は、発行日から1年です。

金券は、町内の「子育て支援厚真町金券 取扱店」で 買い物などに利用できます。

※お店には取扱店であることのステッカーが貼られていますので、ご確認ください。
※お釣りは出ません。

- ・この事業の取扱店を希望される事業者は、町民福祉課子育て支援グループに申請してください。
- ・取扱店は、保護者が買い物の際に利用した金券を添えて町に請求してください。町は、取扱店にその代金を支払います。

まちづくり推進課 企画調整グループ
☎27-3179

市街地環境整備 ボランティア募集

市街地の環境整備を行うボランティア団体「花フレンズ」のメンバーを募集しています。現在12人が活動中で、定期的に花壇の整備などを行っています。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



花フレンズのみなさん

活動スケジュール	
活動日	毎月第2・4木曜日
時間	9:30~11:00
集合場所	役場前
持ち物	軍手、汚れてもいい服装
活動内容	草取り、花植え、花壇整備など



役場の新人職員を 紹介します。

平成29年4月1日付で町職員として採用された7人の新人職員を本人の自己紹介や今後の抱負と併せてご紹介します。

よろしくお願いします



 総務課 総務人事グループ やすだ よしかず 安田 芳和 (34歳)	 産業経済課 農林業グループ わたなべ ようへい 渡辺 洋平 (40歳)
 町民福祉課 福祉グループ たかわけ きよひろ 高桑 清弘 (34歳)	 町民福祉課 子育て支援グループ こばや し せな 小谷 星菜 (25歳)
 まちづくり推進課 企画調整グループ かむらら こうた 川村 航太 (26歳)	 産業経済課 経済グループ ふじた あさこ 藤田 あさこ (29歳)

厚真町の皆さま、初めまして。町のことを学び、少しでも皆さまのお役に立てるよう努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

前職は林務関係の仕事をしていました。早く町に慣れ、仕事に慣れ、厚真町の発展に貢献したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

このたび、臨床心理士として採用されました。これまで培った知識・経験を生かし、少しでも地域貢献できるよう尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

厚真町の皆さまこんにちは。少しでも皆さまのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

このたび、厚真町で新規採用され働くこととなりました。出身は札幌市です。町民の方々に貢献できるよう職務にまい進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

札幌市に10年在住し、そのなかでたびたび訪れていた厚真町で働くことが出来ることとなり大変嬉しく思います。とても美しいこの町のため尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

町民の皆さん、こんにちは。生まれ育った町のために貢献できるよう頑張ります。皆さま、よろしくお願いいたします。

「子どもと過ごす時間」を求めて、 未経験からほうれん草農家に

ほうれん草農家 安達博司さん (軽舞)



農業とは無縁だった移住前の生活。出身は北海道小樽市ですが、東京で通信系設備工事の会社に就職しました。その後、アメリカの冷凍食品工場での技術指導をしたこともありました。いろいろな経路で、最後は埼玉県で7年間、焼き鳥屋を営んでいました。子どもと向き合う時間がもつとほしい。「自然のなかで暮らしたい」という気持ちが軸にあり、移住を考えて、何回か北海道にきたりインターネットなどで情報を集めていたうちに、厚真町の地域おこし協力隊の農業支援員の募集を知ったんです。厚真は海も山も近く自然も豊かなのに、苦小牧などにも近くて交通の便のよいところも気に入りました。奥さんが「今

応募しなきゃ、絶対に行けないわよ」と後押ししてくれたこともあって決意しました。「子どもと向き合う時間」を軸に考えた移住。

夏は日の出とともに起きて農作業に入り、夜中までかかることもよくあります。僕らの都合ではなく、すべてはほうれん草の状況次第です。数時間しか寝られない日も続きます。それでも、朝飯も晩飯も、家で必ず子ども顔を見ながら取れるのがいいですよ。それだけでも十分、厚真に来たかいると感じています。

自ら地域に働きかけ、つながることの大切さ。土地を借りられたこともそうだったし、このハウスの

枠も、地元の方から譲ってもらったものなんです。いい人が多くてね、かまってくれないのか。何も知らないで来た者に農家ができてくれるか心配して畑の様子を見に来たことあります。

協力隊時代に役場の方に「どこでも、どんな場所にも顔を出しておくとアドバイスされ、それは守ってきたように思います。町内会の行事なども含めて、行事に行きたこと広がり人間関係も多いですね。それとうちの奥さんも、よその農家さんから繁忙期の助人を頼まれた時に必ず快く行ってくれるので、可愛がってもらえるんです。いい関係作りにもなり、感謝してもらっています。最初はこちらから働きかけ、認めてもらう努力は必要

だと思いません。楽ではない。でもきつとかなる、できる

実際、まったく農業経験のない我々でも今はこうしてここにきてこの生活ができています。これから移住や新規就農を考えている人たちにこのモデルケースになれたらいいなと考えています。移住前って、みんな家族会議をしますよね。迷って当たり前だし、保証はないし、無責任においでよとは決して言えないけれど、やればなんとかなると思うんです。乗り越えて、その先にできた家族の絆という宝物もありましたしね。厚真に来てよかったと思っています。

本記事は抜粋です。全文はウェブサイトをご覧ください。
<http://guruguru.jp/atsuma/lvs/news/adachi.html>
配信日：2016年8月29日



ウェブマガジン「グルグルリパブリック」をご存知ですか？

平成28年度からスタートした「グルグルリパブリック」は、いきものの循環や繋がりといたテーマを共有する地域の挑戦を伝えることを目的としたウェブマガジンです。現在は、厚真町、岡山県西栗倉村、滋賀県高島市等で挑戦を続ける方々の紹介や、地域の取り組みなどについての記事を定期的に配信しています。

今後も、厚真町の魅力を発信することに併せて、改めて厚真町の良い部分や楽しい取り組みを確認するきっかけになるよう、充実した記事の配信に努めていく予定です。ご興味のある方はぜひウェブサイトをご確認ください。

<http://guruguru.jp/>

